

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社高和製作所)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			経営者・部門長の定期的な全員面談により、差別の関する教育を実施。差別のない体制を構築・維持している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントに関する禁止事項を就業規則に明記している。また定期面談により個別の相談に対応している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			総務担当の時間管理により長時間労働をしない雰囲気社内に定着している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			特定技能外国人の雇用に対し、分け隔てのない人間関係や福利厚生で過ごしやすい環境を構築している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			安全衛生計画を年次で発行し、安全衛生委員会にて月次会議を実施。また委員メンバーを定期的に入替えることで社内意識向上に努めている。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			挨拶の徹底、年長者や役職者は下位社員への声掛けに注力している。また、定期的な懇親企画を開催、定期面談による確認を行っている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			様々な人材の雇用促進と、採用後の働きやすさの追求し、厚生施設(トイレ・更衣室等)の整備も実施している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			社内・外部コンサルタントによる勉強会や、経営陣が外部研修を受講し、社内へ展開している。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			社労士や専門家に相談し、透明性のある社内制度を構築するなど、法令に即した対応を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			インフルエンザ予防の幹旋(社内にて接種)、感染予防に対する社内方針を定めて周知徹底している。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物を把握し管理している。 【予定】削減目標を定めて実施する(2019～2030)											11.6	12.4		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			環境省の自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)に2009年度採択され、それ以来管理している。							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			JVETS採択時に35%削減。その後の社内意識向上により、節約節電に心掛けている。現在では運搬方法の効率化による排出量削減目標を策定し実施中(毎年)							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令で規制されている有害化学物質を把握し、取扱製品に対し、混入のないよう成分検査を実施している。			3.9		6.3						11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環 境	15【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			粉塵等が近隣へ舞わないよう集塵設備等の定期点検を実施している。						6.6									15		
	16【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			材料及び資材運搬用木材パレット等は破断し暖房設備燃料として流用。その他プラスチックゴミの発生を抑えるよう推進している。											12.5		14.1				
	17【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			日々水道利用料を記録し、無駄のない利用に努めている。						6.4 6.6											
	18【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ		【予定】	これまでは自発的な環境改善に努めてきたが、さらなる改善のためエコアクション21取得を目指す。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
	19【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ			太陽光発電等の設置をHPで紹介している。引き続き、その他の活動や指針について開示していく。											12.6						
	20【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			2016年に太陽光発電システムを導入した。						7.2							13				
	21【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ			あらゆる原材料は天然資源を利用し、成分分析についても定期的に取得し確認している。											12.2	13	14	15			
公 正 な 事 業 慣 行	22【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄に関し就業規則にも記載された事項の認識を高めるべく会議・ミーティング等で模範となる行動について徹底を図り意識向上を図っている。															16 16.5		
	23【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為に関して会議・ミーティング等で模範となる行動について徹底を図っている。																16	
	24【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			知的財産に関するデータ等の取り扱いについて社内ルール徹底を図っている。							8.2 8.3	9									
	25【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報に関するデータ等の取り扱いについて管理者を立てて保護を徹底している。																16	
	26【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ			社内製品の成分を都度検査し、紛争鉱物が一切含まれていないことを確認している。																16	
	27【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ			取引先トップおよび担当者との定期的な対話により、互いの関係性について認識を深め、理解しあうことにより様々な問題を未然に解決している。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
	28【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			取引先と連携し相互支援をする宣言を作成し、ホームページにて公表している。			3				8	9	10								17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			あらゆる安全性およびリスクについて、取引先と事前に条件面の取り決めを実施している。			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			ISO9001を取得している。また、品質面に関する条件について、取引先と事前に取り決めを実施している。									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			開発・設計段階で取引先と打合せの中で、出来る限りの資源の無駄を削減するよう努めている。						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			製品の軽量化による完成品燃費向上に寄与する提案を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域住民・商工関連との交流、見学会実施による意見交換から自社の改善に繋げている。				4					9		11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			地域行事への参加および協賛を実施している。				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			近隣との関係性を大切にすべく、地産品を購入・利用している。								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本			経営理念の揭示と意識付けを定期的に行い、また経営目標～部門目標、活動計画に紐づけて共有している。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			定期集会や掲示物にて法令遵守に関する事項を発信している。																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			安全、衛生、品質等の各責任者を指名している。																16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			ステークホルダーと定期的に対話し意見交換する等、適切な対応が出来ている。																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ		【予定】	一部のリスクの特定・対応を進めているが整備には至っておらず、社内的に整備を進めていく。																16	
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	CSR方針やプロセスの策定を実施していく。																16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	BCPの策定を実施していく								9		11		13 13.1				16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			2020年に承継が完了した。後継者の育成に努めている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定